

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- [04900] STDマイコプラズマ同定

受託開始日

- 平成24年2月1日(水)

STDマイコプラズマ同定

マイコプラズマ感染症は一般にはマイコプラズマ・ニューモニエによるマイコプラズマ肺炎がよく知られています。

しかし、マイコプラズマ属の中には尿道炎を引き起こすものがあり、非淋菌/非クラミジア性尿道炎の重要な起因菌でもあります。その中の代表ともいえるものがマイコプラズマ・ジェニタリウム (*M.genitalium*) であり、1981年に初めて分離されました。男性では、非淋菌/非クラミジア性尿道炎の20～30%がこれに起因するとされており、女性では子宮頸管炎や子宮内膜炎、骨盤内感染症を引き起こす原因になると考えられています。また、同じ性器マイコプラズマの一つであるマイコプラズマ・ホミニス (*M.hominis*) も同様な疾患の原因となり、最近では流産や早産との関連も示唆されています。

ウレアプラズマはウレアリチカム (*U.urealyticum*) とパルバム (*U.parvum*) の2菌種に分類されますが、これらも性器マイコプラズマ同様に尿道炎を引き起こす原因となります。

これらの非淋菌/非クラミジア性尿道炎は、合成培地で培養ができないため診断が困難であり、臨床像も類似し、症状も乏しいため気が付かないうちに進行している場合があります。当社では、これらの4菌種を迅速に同定可能な研究用検査の受託を開始します。

検査要項

項目コード	04900
検査項目名	STDマイコプラズマ同定
検体量	初尿 8mL (容器番号:55) または ぬぐい液 (容器番号:57)
保存方法	冷蔵
検査方法	PCR/インベーター法
基準値	<i>M.genitalium</i> 検出せず <i>M.hominis</i> 検出せず <i>U.parvum</i> 検出せず <i>U.urealyticum</i> 検出せず
所要日数	3～5日
検査実施料	未収載
定価	7,000円
備考	専用容器は、予めご依頼下さい。 必ず遺伝子検査の専用検体としてご提出下さい。(同一検体で遺伝子検査以外の項目との重複依頼は避けて下さい)

参考文献

日本性感染症学会：日本性感染症学会誌，17(1)，65～67，2006